資料5－3

Kitakyushu Action!
動かせ、未来。北九州市

第2回X会議資料

夏季における子どもの遊び場確保事業

プラチナ市役所プロジェクト

2026年11月24日　Aチーム

財政・変革局 アセットマネジメント推進室　岸本 直也
環境局 グリーン成長推進部 グリーン成長推進課　石川 知弘
総務市民局 人事部 人事課　井上 勇輝
都市整備局 総務用地部 用地課　三宅 有紀
子ども家庭局 子ども総合センター　長谷川 雅也

発表の全体像

身近な困りごとから、既存施設を活かした解決策へ

日常の気づきを起点に、現状を調べ、課題の仮説を整理し、打ち手を検討した。

1 きっかけ

夏の暑い日、
子どもをどこで
遊ばせよう？

子育て中のメンバーの声

2 現状の把握

猛暑の状況・
市民の声・
既存の遊び場

データ・現場の声を確認

3 課題の特定

小学生が気軽に
運動遊びできる
機会は十分か？

現時点での課題仮説

4 解決策の提案

市立体育館の
空き枠を
小学生に開放

冬に試し、翌夏に検証

今後の検討課題

市立体育館に限らず、学校体育館など既存の公共施設を活かし、子どもの遊びの選択肢を増やす必要がある。

※課題は現時点の仮説。冬季は運営面を確認し、猛暑時の需要や効果は翌夏に検証する。

きっかけ

きっかけ

子育て中のメンバーの声が、検討の出発点。

メンバーの声



「夏の暑い日に、子どもを
どこで遊ばせようか悩む」

公園は暑くて利用をためらう。
遊ぶことができる屋内の施設は
限られており、混雑が気になる。

そこで生まれた仮説

この悩みは、
ほかの家庭にも
共通しているのでは？

まず、現状を把握

1. 猛暑の状況
2. 市民の声
3. 既存施設・既存の取組

メンバーの声をきっかけに、気象データや市民の声から仮説を確かめることにした。

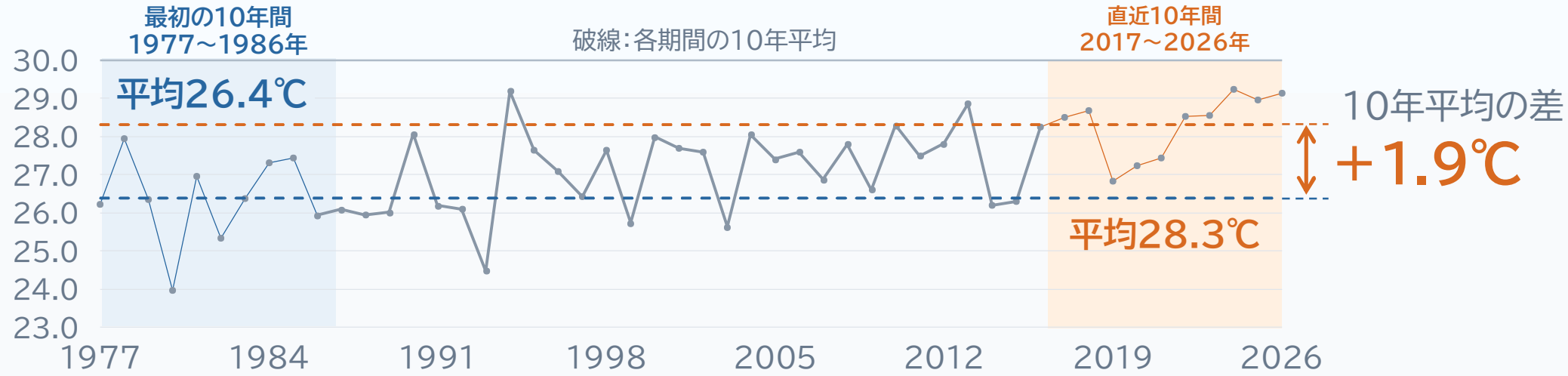
現状の把握

現状分析　－ データ分析 －

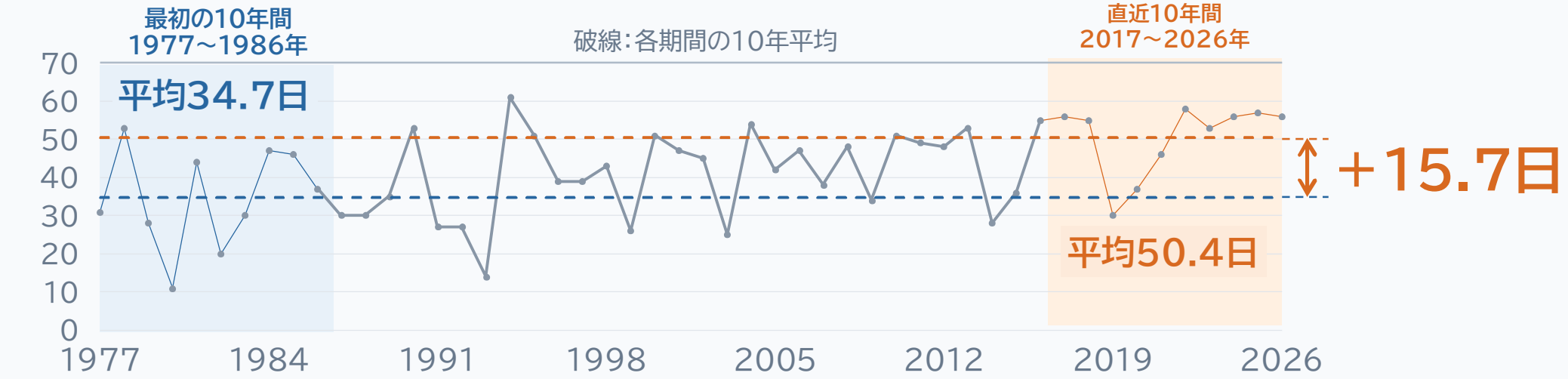
Kitakyushu Action!
動かせ、未来。北九州市

夏季の暑さは厳しさを増しており、子どもの屋外活動が制約されやすい状況となっている。

平均気温の推移(℃)



真夏日日数の推移(日)



真夏日＝日最高気温30℃以上。両グラフとも、7･8月の各年の値を表示。　出典:気象庁「過去の気象データ検索」、(八幡観測所)

現状分析　－ 市民の困りごと －

こども・子育て支援に関する市民アンケートで子どもの遊び場、
特に「屋内施設」や「暑さ対策」を求める声を複数確認。

- 未就学児・小学生の保護者190人（回答者数1,903人）が、子育てに関する日常の悩み・気になることとして「こどもの遊び場所（公園や施設等）のこと」を選択。
- 自由記述に寄せられた意見の1,651件のうち、「子どもの遊び場・居場所・公園の充実」に関する言及が255件。

190人

子育て上の悩み・関心として
「子どもの遊び場所」を選択した数

※回答者数1,903人
※回答者は未就学児・小学生の保護者

255件

「子どもの遊び場・居場所・公園の充実」に関する意見数

31件

うち、屋内施設を求める意見数

33件

うち、暑さ対策がされた
遊び場を求める意見数

※自由記述欄の意見総数：1,651件
※回答者は未就学児～高校生の保護者および中高生本人・18～39歳

出典：令和8年度 北九州市こども・子育て支援に関する市民アンケート結果より

現状分析　－市民の困りごと（児童館視察）－

児童館は夏の居場所として機能し、多様な遊びを提供しているが、夏季の運動遊びには制約が生じる場合もある。

浅川児童館

放課後児童クラブあり／職員・児童への聞き取り

夏季の活動｜職員への聞き取り

夏休みの**外遊びは厳しく、屋内遊びが中心。**
隣接する市民センターの多目的ホールを活用し、運動遊びをしている。

子どもの声｜聞き取りの一例

「外で遊びたいけど、暑いから行けない。」
「屋内でも工作・手芸などの遊びもあって、楽しい。」

運営上の制約

屋外に集団で移動・引率することは人手が足りず、あまり現実的ではない

長浜児童館

放課後児童クラブなし／職員・児童への聞き取り

夏季の活動｜職員への聞き取り

遊戯室でサッカー、バドミントン、ドッヂビーなどの運動遊びを子どもたちが自由にしている。

子どもの声｜聞き取りの一例

「公園は暑いし、虫がいるから行かない。」
「外で遊べなくても、漫画やおもちゃがたくさんあって楽しい。」

設備上の制約

遊戯室には空調設備がないため、熱中症対策で夏場の連続利用は5分程度に短縮する等対策している。

※2館での聞き取り結果であり、市内全館の傾向とは限らない。

現状分析　－ 現在の施設・取組 －

無料で自由に利用できる屋内の遊び場は既にある。
また、民間施設も含めると、体を動かせる屋内の遊び場はあるが、有料施設が多く、立地や料金負担などが利用の条件となっている。

行政の既存施設・取組

児童館・親子ふれあいルーム

無料で利用できるが、年齢・設備等の条件がある

市民センター （わいわい市民センター含む）

地域にある一方、多目的室の利用状況等に左右される

子どもの館・元気のもり

屋内で遊べるが、有料で立地が限定される

市立体育館・学校体育館

運動空間がある一方、利用制度や空調等に制約

その他の遊び場（一部）

商業施設内の大型屋内遊具施設

小学生以下が遊ぶことできるが、有料施設がほとんど。

Mooviわかまつ

屋内外あり・完全予約制・子どもも大人も有料

その他アミューズメント施設

立地、料金、対象年齢など条件は多様

課題の特定
（仮説）

課題の特定・要因分析

1 背景｜夏季の暑さが厳しくなっており、遊び場を求める声はある。

7・8月の真夏日日数（各10年平均）

1977～1986年	→	2017～2026年	
34.7日	→	50.4日	+15.7日

市民の声

「屋内施設」や「暑さ対策」を求める声、
外遊びを控えている現場の声を確認

2 既存施設｜広さや利用条件などに違いがある

児童館

無料で多様な遊び・交流を提供

△ 利用上の制約

鬼ごっこやボール遊びなどは、
児童館によって制約がある
また、施設の配置に地域差がある

小学校体育館

身近で、運動に適した広い空間

△ 利用上の制約

体育館は団体利用のみ
また、空調の整備が進んでいない
※2030年度末までに整備する方針

市立体育館

運動に適した広い空間があり、
空調が整備された施設もある

△ 利用上の制約

個人利用可能だが、料金がかかる
また、団体の予約が優先される

3 課題仮説｜猛暑の中、屋外の運動遊びを補う機会は十分か

猛暑で屋外遊びが制約される一方、夏休みに小学生が気軽に体を動かして遊べる機会が十分ではないのではないか。

解決策
（提案内容）

提案：公共施設の空き時間を夏休みの子どもたちの遊び場に

Kitakyushu Action! 動かせ、未来。北九州市

既存の遊び場を補完する、小学生向けの「運動遊びの時間」をつくる。

提案｜既存施設の使い方を工夫

①場所・時期

空調設備のある市立体育館の空き枠を活用

夏休みの一部時間帯に開放。既存利用を優先して調整

②対象・内容

小学生が広い空間で体を動かして遊べる

走る・ボール遊び等を想定し、安全面に応じて内容を設定

③利用方法

無料・事前予約不要を基本に検討

個人参加を想定。受付・見守り・同伴条件等を調整

※学校体育館の活用、未就学児向けの施策は別途検討する。

目指す姿



運動遊びの選択肢を増やす

冬季に小規模試行 → 運営条件を見直し → 翌夏のモデル実施

冬季の小規模試行：夏季に向けた運営の検証

利用状況や安全管理などの運営上の課題を検証し、翌夏のモデル実施につなげる。

試行の概要（調整中）

時　期	令和9年1月・冬休み中の数日
場　所	空き枠を活用できる市立体育館
対　象	小学生（保護者同伴条件等を調整）
方　法	受付・緊急連絡先・遊びのエリア分け
人　員	プロジェクトメンバー等で運営を試行

検証内容

利　用	人数・時間帯・年齢層・遊び方
安　全	混雑・ヒヤリハット・接触等
見守り	必要人数・保護者同伴の実態
施設負担	準備・受付・清掃・対応時間
利用者の声	満足度・不便な点・改善希望

周知に関して：実施条件を確定後、近隣小学校への周知方法を検討する。

実際に遊ぶ子どもたちの声や冬季試行での検証結果を踏まえ、翌夏のモデル実施につなげる。

実施計画（ロードマップ）

まずは冬休みに市立体育館で小規模に試行し、
運営上の課題を整理したうえで、翌夏のモデル実施を目指す。

PHASE 01	PHASE 02	PHASE 03	PHASE 04
現状分析・調整	冬季の試行	改善・準備	夏季モデル実施
R8.10～12	R9.1	R9.1～6	R9.7～9
打ち手の検討 既存施設の利用状況等を整理し、実施候補施設と実施方法を検討	市立体育館で運営を小規模に検証	安全管理・見守り体制を見直し、夏季実施を準備	夏休みに施設を開放し利用状況・効果を検証
調べる	試す	見直す	実施・検証

今後の検討課題

市立体育館に限らず、学校体育館など既存の公共施設を活かし、子どもの遊びの選択肢を増やす必要がある。

参考資料

サマリー

公共施設の空き時間を、夏休みの子どもたちの遊び場に

今回の提案：小学生向けに市立体育館を開放／学校体育館・未就学児向け施策は今後検討

【ターゲット】
小学生

1 現状｜把握したこと

7・8月の真夏日日数
34.7 → 50.4日
各10年平均（1977-86／2017-26年）

子どもの遊び場所の悩み
190人／1,903人
子育てに関する市民アンケート

2 課題｜現時点の仮説

児童館などの屋内施設は既にある。
一方、近年の猛暑で子どもたちの屋外遊びが制約される中、
身近で気軽に体を動かせる場所が十分ではないのでは。

3 打ち手｜提案すること

まずは、市立体育館の空き時間を小学生向けに開放

※既存利用との調整、安全管理・見守り体制を検討

提案する目指す姿



走る・ボール遊びなど

※遊びの内容は施設条件や安全面を踏まえて調整

進め方｜冬に試し、改善して翌夏へ

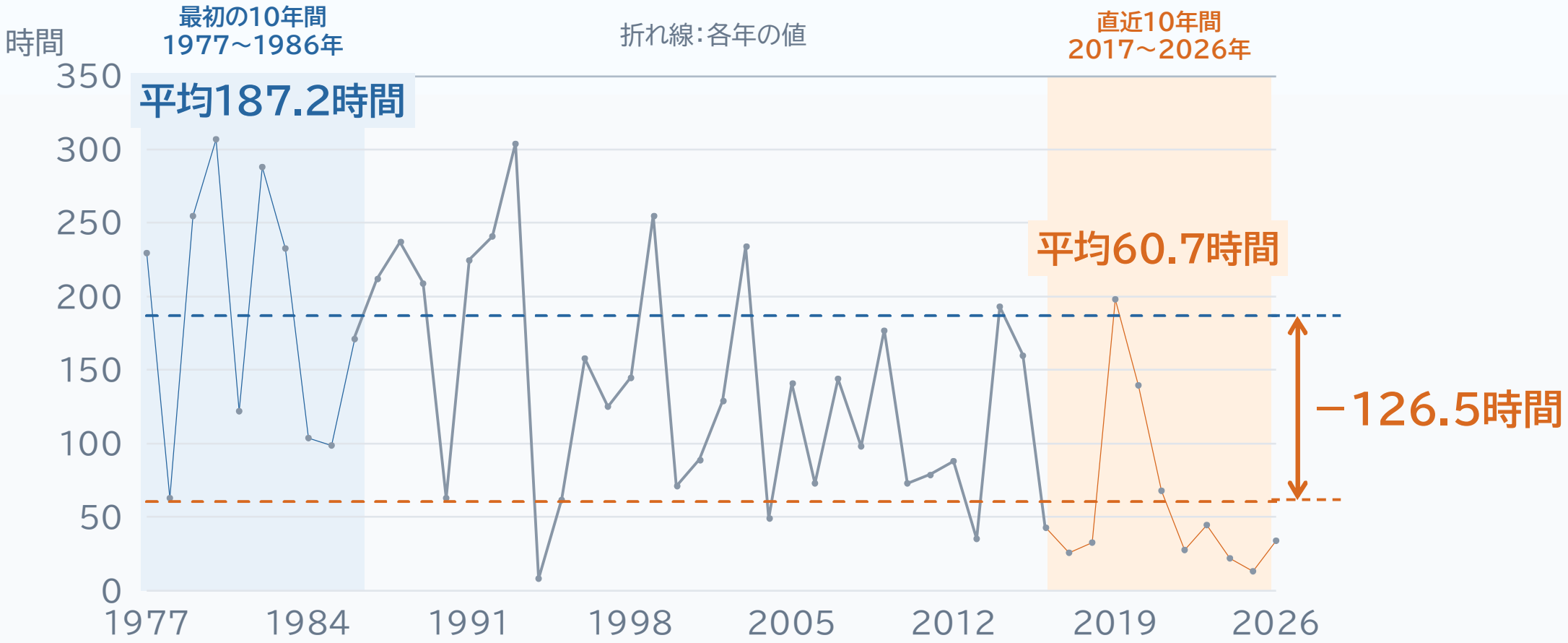
冬休みに小規模試行 → 運営上の課題を改善 → 翌夏にモデル実施

※冬季は主に利用状況（遊びの内容含む）・安全性・見守り・施設負担など運営面を確認。猛暑時の需要や効果は翌夏に検証する。

出典：気象庁（八幡観測所）／令和8年北九州市こども・子育て支援に関する市民アンケート

参考　非真夏日かつ雨がない時間の推移

非真夏日（３０℃未満）で雨が降っていない日中の時間は減っている



日最高気温30℃未満の日について、9～17時の無降雨時間を集計したもの。
真夏日でも、朝や夕方に30℃を下回る日もあるため、あくまで参考。

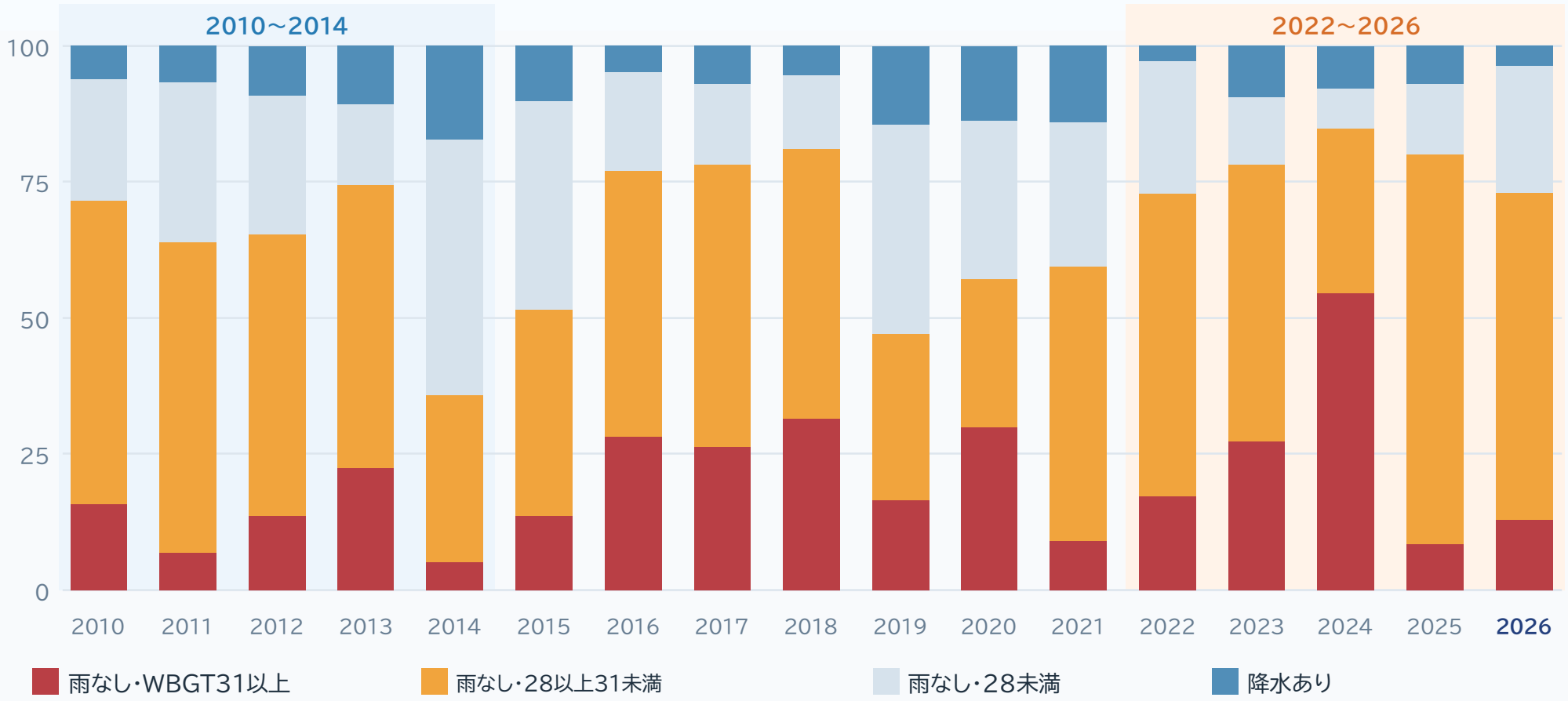
出典：気象庁「過去の気象データ検索」、（八幡観測所）

参考　雨のない時間帯におけるWBGTの変化

Kitakyushu Action! 動かせ、未来。北九州市

全観測時間のうち「雨なし・WBGT28以上」の割合は年ごとに変動しつつ、直近5年で高い水準となっている。

2010～14年：雨なし×28以上　62.2%　→ +15.6% →　2022～26年：雨なし×28以上　77.8%



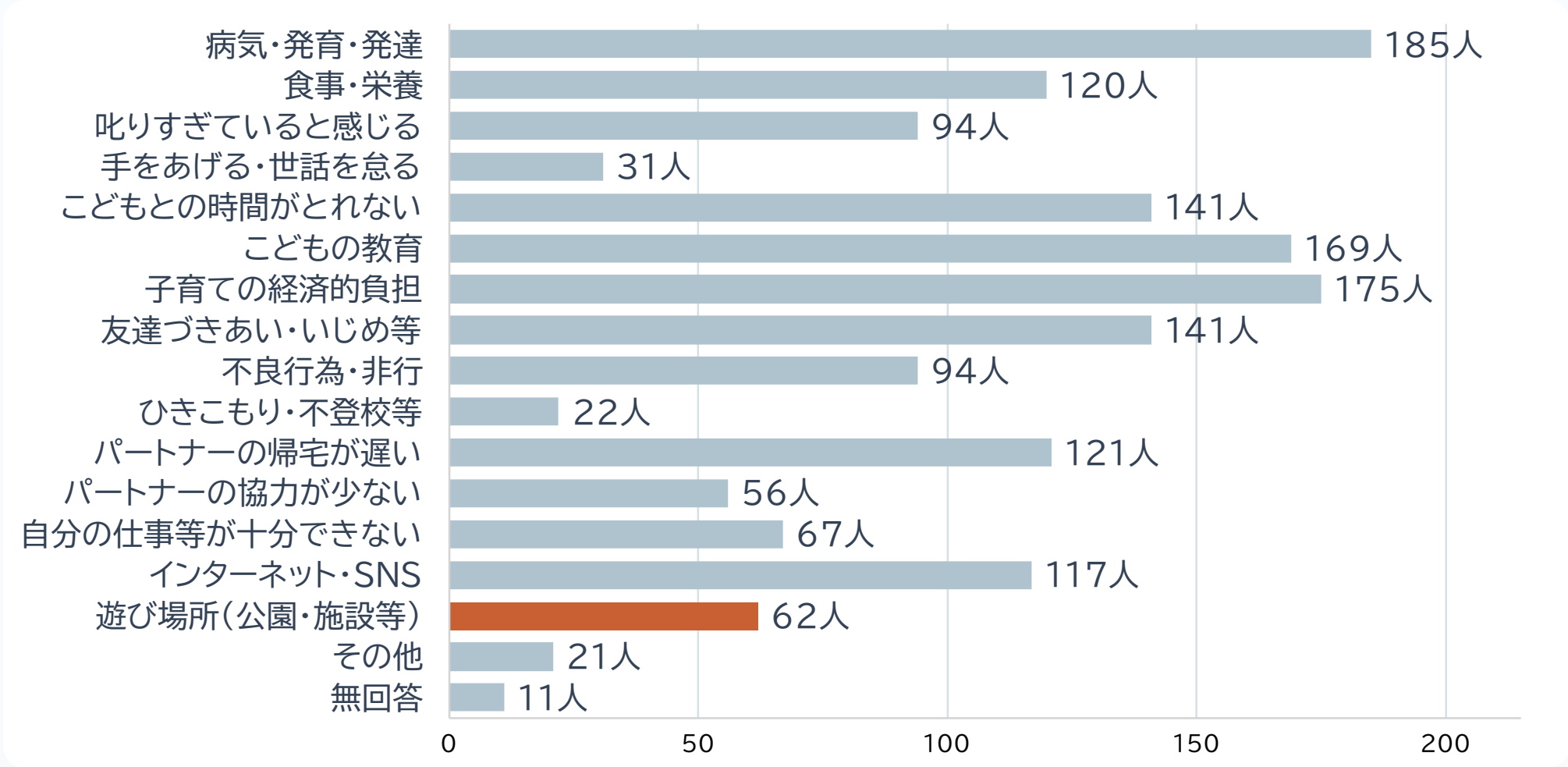
※ WBGT（暑さ指数）とは、気温や湿度などを考慮した熱中症リスクの指標。28以上で厳重警戒、31以上で危険とされる。

出典：環境省「暑さ指数（実況推定値）」、気象庁「過去の気象データ」、日本気象協会（2026年の一部降水量）
集計：WBGTは9～16時の8観測値／日。降水量は対応する9～17時の各1時間（10～17時に観測）。2026年WBGTは速報値。

参考　市民アンケート

子育ての悩み（小学生）

小学生区分の全体 n=561　複数回答　全17項目を掲載

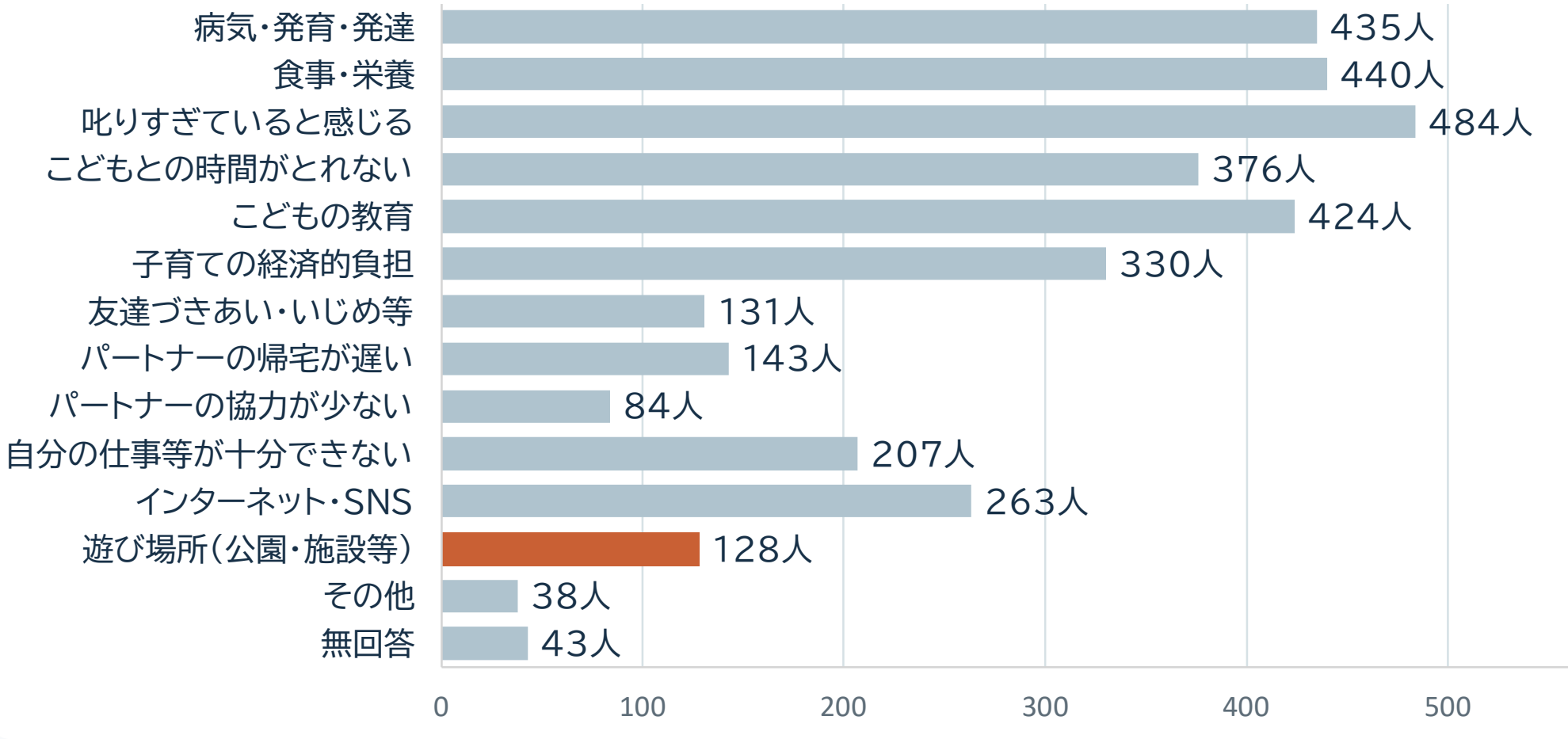


出典：令和8年度 北九州市こども・子育て支援に関する市民アンケート結果より

参考　市民アンケート

子育ての悩み（未就学児）

未就学児区分の全体 n=1,342　複数回答　全14項目を掲載



出典：令和8年度 北九州市こども・子育て支援に関する市民アンケート結果より

参考　－ 現在の施設・取組① －

Kitakyushu Action!
動かせ、未来。北九州市

現状、屋内の遊び場は一定数あるが、「身近に」、「予約なしで」、「体を思いっきり動かして遊べる」といった条件を満たす施設は限られる。

施設・取組	主な対象	施設数等	料金	提案する事業との関係
親子ふれあいルーム	乳幼児・保護者	16箇所	無料	親子向けの施設。対象年齢・遊び方に特徴。
児童館	18歳未満	39館	無料	利用内容・スペース・混雑状況は館により異なる。
市民センター	地域住民	136館 （うち6館はサブセンター）	無料	わいわい市民センターは一部で実施。
市立体育館	一般利用者 スポーツ団体	17施設	有料	運動空間がある。 空調・利用条件・料金調整が必要。
学校施設開放（体育館）	校区内の児童	各校区	無料	体育館は団体利用のみ。 体育館に空調設備がないことが課題。
子どもの館	乳幼児～小学生	1箇所 コムシティ	有料	大型の屋内遊び場。立地や料金の条件あり。
元気のもり	乳幼児	1箇所 AIMビル	有料	大型の屋内遊び場。立地や料金の条件あり。

参考 － 取組事例(児童館) －

大じどうかんまつり



ドッジビー大会



放課後児童クラブ



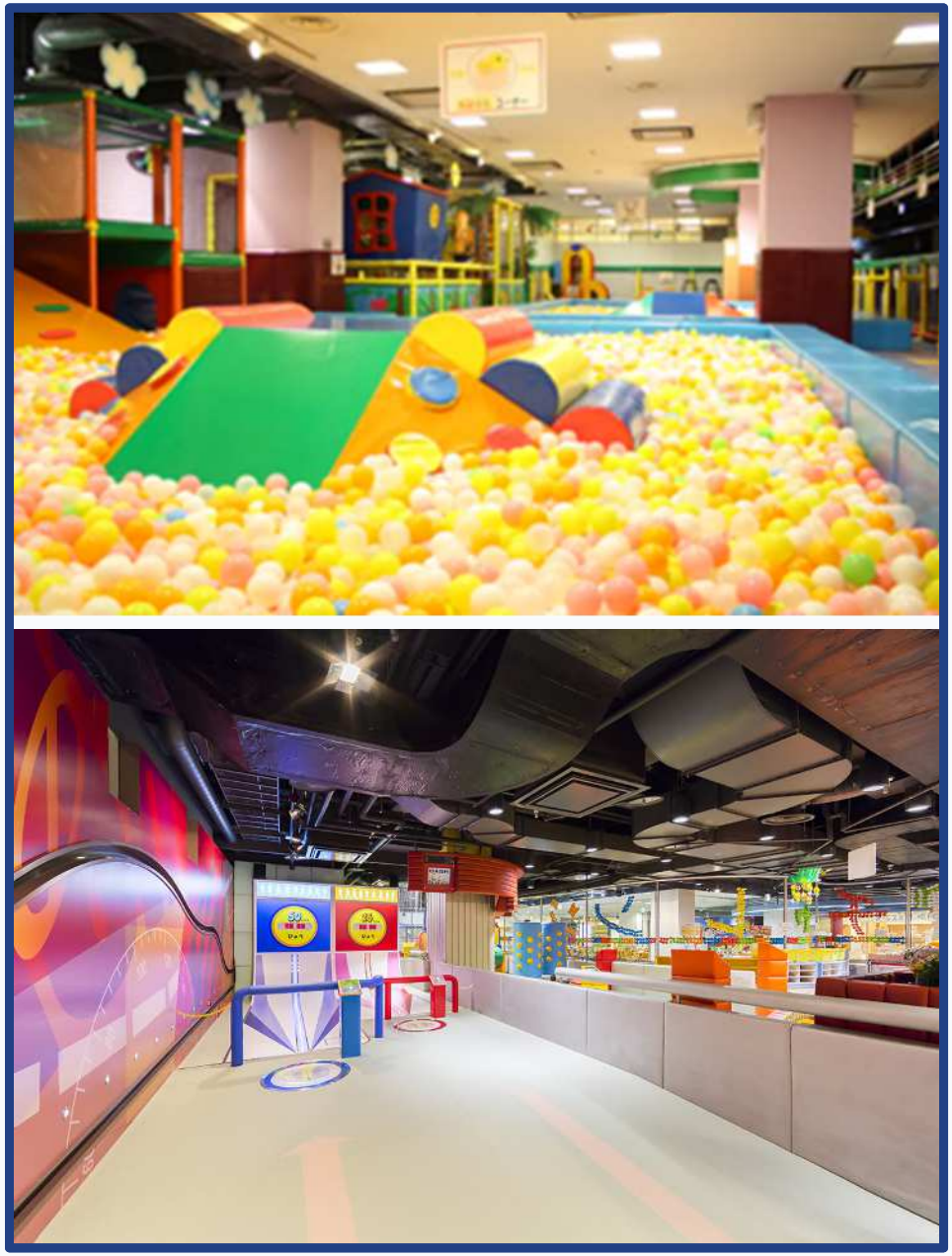
親子教室



参考 － 取組事例 －

Kitakyushu Action!
動かせ、未来。北九州市

子どもの館HOW！？（コムシティ7階内）



元気のもり（小倉北区　AIMビル3階内）



参考　－ 現在の施設・取組② －

Kitakyushu Action! 動かせ、未来。北九州市

民間では、「予約なしで」「体を動かして遊べる」施設もあるが、「無料で」「身近に」といった条件を満たす施設は限られる。

民間施設（一部）	主な対象	料金	運動（思いっきりできるか）	予約
キッズランドUS（サニーサイドモール内）（ミスターマックス真名子店内）	乳幼児～小学生	子ども：平日60分800円／休日60分800円 保護者：1日700円　※0歳無料	◎ 大型遊具・ジャングルジム等	不要
The Kids（リバーウォーク北九州内）	乳幼児～小学生	子ども：平日1日 1,000円、休日3時間 1,200円 保護者 500円	◎ 大型遊具・ジャングルジム等	不要
Niko Niko Garden（サンリブ高須店内）（サンリブ三ヶ森店内）	乳幼児～小学生	子ども：平日20分 300円／休日60分 500円 保護者：300円	◎ 大型遊具・ボールプール等	不要
ネバーランド門司店（ゆめマート門司店内）	乳幼児～小学生	子ども：平日60分 600円／休日60分 700円 保護者：500円	◎ 大型遊具・ボールプール等	不要
とびくるトランポリンパーク（八幡西区南八千代町3-12）	幼児～大人	2歳～小2：平日60分　770円／休日60分　880円 小3～小6：平日60分1,650円／休日60分1,760円	◎ 様々なトランポリンアクティビティ	必要 ※推奨
ASOBLE（ジ アウトレット 北九州店内）	小学生	無料　※一部のアクティビティは有料	◎ 大型遊具・アクティビティ	不要
Moooviわかまつ	乳幼児～小学生	子ども・大人各300円	◎ 大型遊具・アクティビティ	必要

参考 － 他都市の事例 －

		主な対象者	事業概要	成果
小学校体育館	東京都 千代田区	● 小学生	● 空調完備の体育館（2校）を無料開放 ● 見守りはシルバー人材に委託 ● 学校側は、鍵の開閉や空調を管理 ● けが保険未加入	● 延べ246人が参加 ● 参加者から好意的な反応あり。 一方で、利用時間の延長などの 要望がある。
	神奈川県 海老名市	● 小学生 ● 未就学児	● 全校の体育館への空調完備に伴い、 R8から試行実施（2校を無料開放） ● 見守りは地域ボランティアスタッフ ● けが保険（お見舞金）に加入	● 夏休みの5日間で 約400人が来場
	愛知県 豊橋市	● 小学3年生以下 ● 未就学児	● 空調完備の小学校体育館（1校）を 無料開放（※こども未来館の休館期間 中の代替施設として開放） ● 見守りは職員1名を配置 ● けが保険は施設加入の賠償保険で対応	● 夏休みの6日間で 約40人が来場
市立体育館等	福岡市	● 中学生以下	● 市内体育館7施設を無料開放 ● 見守りは児童館スタッフを配置 ● 傷害保険加入	● 夏休みの7日間で 延べ3，311人が来場
	神戸市	● 小学生	● 体育館含む17施設を無料開放 ● 見守りは外部講師やボランティアス タッフ ● 保険は各施設で対応	● 夏休み期間中、 延べ3，168人が来場
	埼玉県 久喜市	● 小学生	● 総合体育館を無料開放 ● 見守りはシルバー人材に委託 ● 傷害保険に加入	● 今冬に施行実施予定

出典：千代田区HP、神奈川県海老名市HP、福岡市政だより令和8年7月15日号、神戸市HPより。愛知県豊橋市、埼玉県久喜市は聞き取りによる。
各市・事業団の担当者にもヒアリング調査を別途実施。

参考 － 他都市の事例（神戸市）－

神戸市では、夏休みに空調設備のある体育施設を子ども向けに無料開放。
体育館に加え、公民館などの体育室も活用している。





【取組内容】

神戸市 「夏休み体育施設無料開放」

- 対象 ： 小学生（一部施設で未就学児・中学生）
- 実施場所 ： 地区体育館や文化センター、公民館など
- 実施期間 ： 令和8年7月18日～8月31日の間、週1回2時間程度
- 内容 ： バスケットボール、バドミントン、卓球など。施設によってスポーツが限定されており、専門の指導員や見守りのボランティアスタッフを配置

【参考となる点】

- 新たな施設を整備せず、既存体育施設等を開放する手法で実施
- 常時開放ではなく、夏休み期間・曜日・時間帯を限定した運用
- 施設条件に応じて、実施内容を変える運用

出典：神戸市HP「夏休み体育室開放」より
https://www.city.kobe.lg.jp/a80057/kosodate/lifelong/koumin/index.html

参考 － 関係課・施設ヒアリング －

市立体育館など既存施設の活用の余地を確認した。
既存利用との調整、安全管理等が課題だが、活用の余地があることが分かった。

施設	活用可能性	主な課題
市立体育館	大会等の専用利用がない日程は 活用の余地がある	• 予約がない平日は個人利用者への事前周知が必要 • 既存の利用団体等との調整 • 安全管理・運営方法の整理
学校施設 （体育館）	予約がない時間帯は 活用の余地がある（要調整）	• 体育館の空調が整備されていない • 空調がある教室の開放は、セキュリティ面が課題 • 安全管理・運営方法の整理